

まちづくり事業費補助金補助事業実績報告書

- 1 団体名 【 学生団体 kiki tie 】
- 2 補助事業名 【 『tomoにつくるラボ』 by キキタイカフェ 】
- 3 事業実施状況 実施時期：令和 6 年 4 月 1 日～令和 6 年 7 月 22 日まで
実施場所：・玉結びマーケット内：やきもの散歩道内青木製陶所
・ツキイチオオノ：大野町周辺

4 事業の効果

本活動を通して、初対面の方が多いためお話の内容は表面的なものが多くなってしまったという事情はあったものの、実際に地域の方と交流することができたことで、医療中心、自分の今いる環境を中心に考えがちであったことに気がつくことができた。地域の方が医療者に向けて持っている期待を垣間見ることは、間違いなく私たち学生の意識に影響したと考える。実習や、今後に現場に出ていく上での大きなモチベーションとなった。

今回はアートに関する体験型のテーマを採用したが、訪れた方の反応を見ていて、比較的良好な満足度を得ることができていたと考える。その理由として、自分を表現できることにあるのではないかと考えた。普段から自己表現を成長の糧にしている子どもたちだけではなく、仕事や子育てに追われて何か自分のアイデアを自由に形にするという機会が失われてしまった大人にも、楽しんでいただけたのではないかと考えた。まちづくりの方法には様々なものがあり、私たちはあまり詳しく知る部分ではないが、アートは体験する人を主役にするができること今回の活動を通して感じた。そのため、普段なら一歩前に出ることが難しい人でも、より他者との関わりを持ちやすくなるのではないだろうかと考えた。





1

目次	活動日時
	活動概要
	結果、活動の様子
	本活動の成果に関する考察 -学生視点-
	本活動の成果に関する考察 -まちづくり視点-
	まとめ

2

活動日時

- ◆4月20日(土) ツキイチオオノ出店
- ◆6月1日(土) 玉結びマーケット出店
- ◆6月23日(日) ツキイチオオノ出店



3

活動概要

地域に開かれたイベントでの出店を通し、
来場者の方や他の出店者の方々と交流することを
目的に活動を企画した。

*** ツキイチオオノではお菓子や飲み物を用意し気軽
にお話できるスペースを作りつつ、適宜需要に応じて
似顔絵アートを実施した。(6月は材料にあまりが
あったためハーバリウム作り体験も同時に実施した。)**
私たちの活動目的の一つとして、地域の方との交流を
通して“**地域の方の声を聞き、知ること**”が挙げられる。
これは、将来の地域医療を担う上でとても大切なこと
であると考えている。ツキイチオオノでは、会場の雰囲気



4

気がゆったりとしており、お一人お一人と話しやすい空気感であるため、アートに関連する体験や、飲み物を提供しながら、機会を伺いつつお話を伺う形で活動を実施した。

*** 玉結びマーケットでは、**来場者数が多く、ものづくりに関わる人が多いといった特徴から、お話をゆっくりお聴きするカフェの形式を変更し、**ワークショップの形式とした。**内容としては、アートに関するものが適していると考え、**ハーバリウム作り体験と手形アート体験**を実施した。新たに5人ほど協力者を募り、当日はお客さんに希望する体験を選んでいただき、ほぼマンツーマンとなるような形でスタッフによる軽い説明の後に体験をしていただいた。どちらも、充実したコンテンツとなるよう、バリエーションに富んだ材料を用意した。そのため、ご自身で色や材料を選択の自由度が高く、スタッフとの間にコミュニケーションが生まれやすい仕掛けにした。その他の点として、来場者数が多いことが見込まれたため体験料を有料とし、お一人200円いただいた。また、使用する拠点が昨年まで廃材置き場となっていたため、玉結びの主催者の方と一緒に会場を掃除、設営する段階から関わることができた。

— 5

5

活動の結果・活動の様子

	来場者数	客層	当日の会場の様子
4月ツキイチオノ	15人ほど	親子連れが多い、リピーターさんも来てくださった	天気の良い日であったため屋外の芝生に椅子を置いて実施したが、イベント全体の来場者が少なかった。子育て世代に向けたフードバンクの利用者が立ち寄ってくださる印象であった。1人ずつゆっくりとお話をお聴きした。
玉結びマーケット	51人	子ども～中高年まで年齢層は広い、親子連れ、カップル、ご夫婦、友人同士など。男女差は目立たなかった	天気は良く、イベント会場には多くの方がひしめき合っていた。私たちの会場は決して分かり易い場所ではなかったが、入念なインタグラムやポスターでの広報、口コミによりたくさんの方に立ち寄っていただくことができた。人によっては、作業の合間にたくさんお話することができた。
6月ツキイチオノ	30～40人ほど	親子連れ、隣の防災ブースのスタッフが多い、リピーターさんも来てくださった	やや奥まった屋内であったため導線の確保に苦労したが、隣のブースの防災啓発団体の方が声掛けをしてくださったこともあり多くの方に来ていただくことができた。似顔絵とハーバリウム両方となったため、4月に比較するとゆっくりとお話できる時間は短かった。

6

◆お客さんからのコメント

学生が頑張っていることが素晴らしい、応援したい。（予想外に多くの方からそのようなコメントをいただいた。）

子どもがいと似顔絵は描いてもらいたくなる、無料というのがすごい。（ツキイチオオノ）

子どもがやりたい！と言ってきかないので、（ハーバリウム体験で多かった。）

200円というのは安すぎませんか？（玉結びマーケットにて、内容に見合わない値段であったため少し警戒されている方もいたのかもしれない）

どうして医療の学生さんが活動しているんですか？

◆イベント主催者の方からのコメント

思っていたよりたくさんの方に来ていただけてよかったです。（両イベント共に）

体験型のブースは子どもに喜ばれるのでいいですね。似顔絵は食いつきがいいですね。（ツキイチオオノ）

◆お話の内容

これまでにかかった病気、今通っている病院や飲まれているお薬について

医療系学生はどのような学生生活を送っているのか？（質問していただけることが多かった）

大野町について、地元トーク

趣味やお仕事、今している活動について（他の出店者の方）

子どもや孫について、etc.

— 7

7

ツキイチオオノでの
似顔絵アートの様子

お友達のグループや、
小学校の同級生、兄弟で
来てくれました！



— 8

8



9



10

6月のツキイチオオノはなんとか3人でやり切りました。



大変お世話になったツキイチオオノ実行委員会の皆様



11

11

玉結びマーケットの様子



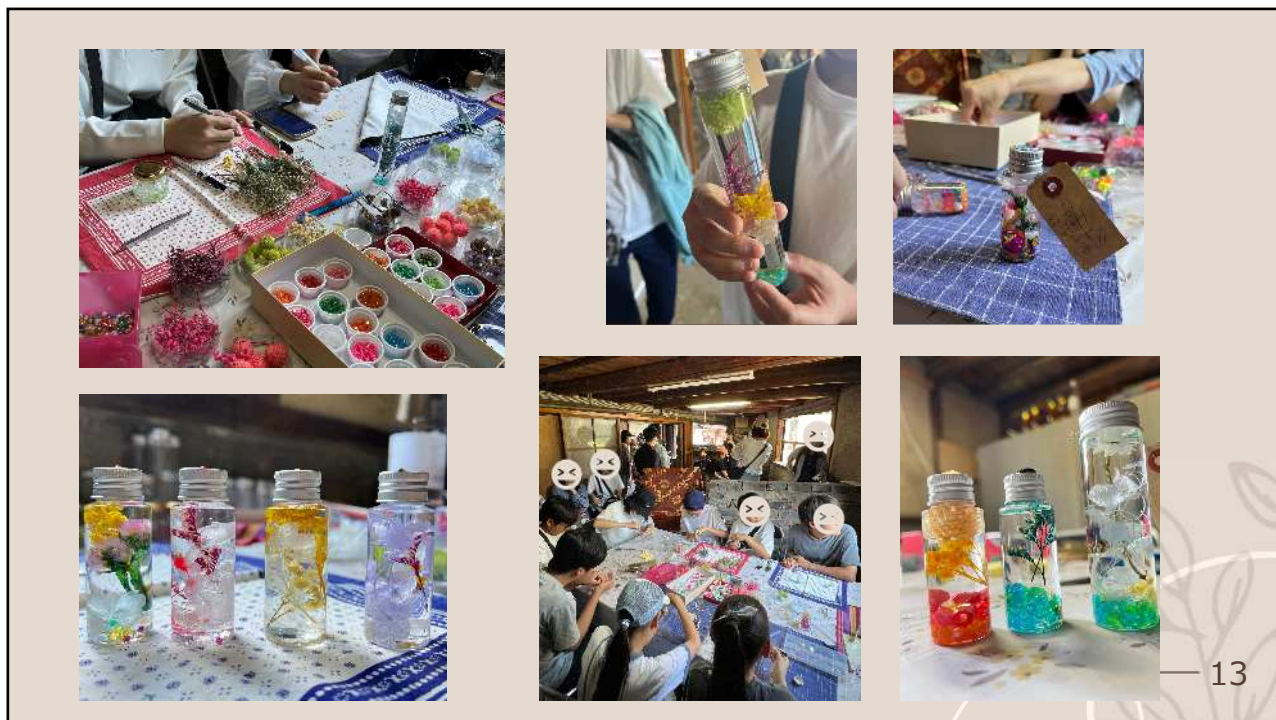
お借りするスペースの片付け、掃除が終わった状態から、会場の設営までのbefore after
片付けを通して、主催者の方とゆっくりお話しすることができました。



市民協働課の木村さん、石田さんにも来ていただきました！

— 12

12



13

13



— 14

14



手形アートは
ハーバリウムに
比べると体験者
は少なかったで
すが、お子さん
を中心にたくさん
体験していただ
くことができました！



15



キラキラを使った
点が好評でした。



大学の同級生や後輩に声をかけ、7人で臨みました！
人数が多い分、お一人ずつ丁寧に対応することができ
ました。

— 16

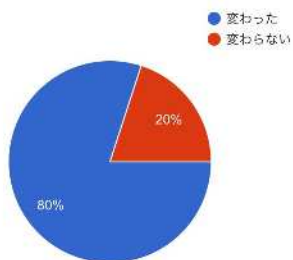
16

本活動の成果に関する考察-学生視点-

◆ 玉結びマーケットでの学生スタッフ（キキタイのメンバーを含む）に実施したアンケート結果(回答率は83%,6人中5人でした)

今回参加してみて、こうした地域でのボランティアのイメージは変わりましたか？

5件の回答



イメージが変わった方へ

どのような点が予想していたものと違いましたか？

4件の回答

様々な地域から人が集まるイベントだったため、多種多様な地域の話が聞けた点

思った以上に地域の方が優しく話しかけてくださったところ。

思っていたより人との距離が近く、お話をさせていただいたり関わらせていただいた中で温かみを感じることができました。

常滑にこんなに活気があると思っていたため、来てくれる方ももっと少なく、淡々とした作業のようなものだと思っていたが、お客さんの方から積極的に活動や、私たちについて興味を持ってくださり、とても嬉しかったです。こちらがサービスするだけでなく、お客さんからも活気もらいとてもやりがいのあるものだと感じました。

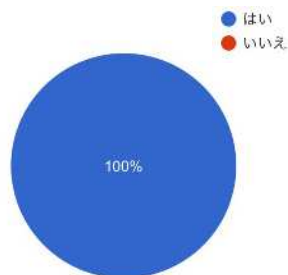
17

本活動の成果に関する考察-学生視点-

◆ 玉結びマーケットでの学生スタッフ（キキタイのメンバーを含む）に実施したアンケート結果(回答率は83%,6人中5人でした)

このようなイベントに学生が参加することは有意義だと思いますか？

5件の回答



学生が参加するメリットはなんだと思いますか？（あれば）

5件の回答

学生生活の時間があるうちにボランティアに参加できる

地域に根ざした進路を決すよいきっかけになると思います。

社会貢献による自己肯定感の向上であったり、ボランティアの経験を得ることができる点。また、地域で行うことでその地域の文化を実際に見ることができる点

自分のような学生でも地域に貢献できる、関わりを持つことができるという自身に繋がることを得られるメリットがあると思います。社会に出るとき、お客さまの立場で何を求めているのか、期待値を超えるためにすべきことが何かを考える力がつくと思いました。

学校では学ぶことができない体験ができ、地域に貢献できる機会になる。また、地域のために自分は何などをしたら楽しんでもらえるか、喜んでもらえるかを確認できる。

18

本活動の成果に関する考察-学生視点-

◆ 玉結びマーケットでの学生スタッフ（キキタイのメンバーを含む）に実施したアンケート結果(回答率は83%,6人中5人でした)

今回の経験は今後の将来（就活、学生生活など）に活かせると思われましたか？

5件の回答

● はい
● いいえ

（はいと答えた方へ）どのように活かそうですか？（あれば）

5件の回答



医療機関にかかる方以外の話を聞いた

人との会話のはじめ方に活かそうです。

今回はハーバリウム体験をしましたが、比較的簡単にを行うことができたため、他の場所でもやってみたいなと思えました。また、自分自身あまり接客をする経験がなかったので今後に繋がる良い経験となったと思います。

企業は最近、地域との関わりを積極的に求めているため、このようなプロジェクトは企業に自分の実体験をアピールすることが大いにできると思います。

（今後も地域に貢献できるようにしたいと思います！）

19

（任意）印象に残ったお客さんがいたら教えてください。

3件の回答

おそらく父親が海外出身で、ハーフのお子さん

札幌から来てくれていたお客さんが印象的でした。

北海道から来てくださった親子

これらのアンケート結果から、大学生が地域に出て市民の方と交流する機会を持つことは、大学生側の社会経験としてポジティブに働くことが示唆された。

特に、普段の学生生活では地域社会との関わりが薄い学生にとって、将来のことを考えるきっかけとなったり、地域貢献できたという自信を持てることにつながると考えられた。

（任意）今回のキキタイカフェのブースで改善できる点を教えてください。

2件の回答

ハーバリウム体験にて、作り方を口で説明しましたが注意事項や作り方がまとまった紙（レジュメ的な）が置いてあるとお客さんも確認できてよかったかなと思いました。

今回とても素晴らしかったと思います。

本活動を通して、初対面の方が多いためお話の内容は表面的なものが多くなってしまうという事情はあったものの、実際に地域の方と交流することができたことで、医療中心、自分の今いる環境を中心に考えがちであったことに気がつくことができた。地域の方が医療者に向けて持っている期待を垣間見ることができたことは、間違いなく私たち学生の意識に影響したと考える。実習や、今後現場に出ていく上での大きなモチベーションとなった。

20

本活動の成果に関する考察-まちづくり視点-

◆ 活動場所について

今回は二箇所の拠点で活動させていただいたが、玉結びマーケットの方がはるかに集客率が高かった。その要因としては駅に近く、やきもの散歩道の観光地の中にあることが考えられる。一方でその分、玉結びマーケットに比べて、ツキイチオオノの方がその地元の、地域の人が参加者の中で占める割合が高かった。地域でのまちづくりを進める点ではどちらにもメリットがあると考えられるが、ツキイチオオノのように立地的に集客が難しい場合は、より興味をひくコンテンツが必要であると思われた。特に、カレーやおやつといった食に関するテーマの月や、お祭りの月は賑わいが増していた印象があった。

また、こうした地域のイベントに参加される方は地域の住民の一部であり、自分の住む地域で行われるイベントに対して誰もが良い印象を持っているというわけではないという学びもあった。イベントの運営に関わる側として、どこまで地域の方と関わるかというのは、とてもバランス感覚が求められるのだなと主催者の方を見ていて感じた。

◆ 活動内容について

今回はアートに関する体験型のテーマを採用したが、訪れた方の反応を見ていて、比較的良好な満足度を得ることができていたと考える。その理由として、自分を表現できることにあるのではないかと考えた。普段から自己表現を成長の糧にしている子どもたちだけではなく、仕事や子育てに追われて何か自分のアイデアを自由に形にするという機会が失われてしまった大人にも、楽しんでいただけたのではないかと考えた。まちづくりの方法には様々なものがあり、私たちはあまり詳しく知る部分ではないが、アートは体験する人を主役にすることができると今回の活動を通して感じた。そのため、普段ならいっしょに出ることが難しい人でも、より他者との関わりを持ちやすくなるのではないだろうかと考えた。

— 21